

木材利用検討会議について

1 概要

(1) 名称

吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進検討会議

(2) 設置年月日

令和元年5月8日

(3) 目的

地域循環共生圏の構築に向けた取組として、吹田市木材利用基本方針に基づく、本市公共施設等への能勢町産等木材の利用についての仕組みの構築がある。その仕組みの構築に向けた取組である、能勢町産等木材の利用推進に必要なガイドラインの策定に関する事項について必要な意見等を聴取するもの。

(4) 委員等

【委員】

	区分	所属・役職	氏名
委員長	1号委員 (学識経験者)	京都大学生存圏研究所 教授	五十田 博
副委員長	1号委員 (学識経験者)	ひょうご持続可能地域づくり機構 代表理事	畑中 直樹
委員	2号委員 (関係団体職員)	大阪府森林組合 豊能支店長	花崎 由泰
委員	3号委員 (関係行政機関職員)	大阪府北部農と緑の総合事務所 森林課長	津本 裕二
委員	3号委員 (関係行政機関職員)	能勢町環境創造部地域振興課長	前田 博之

【オブザーバー】

- 近畿地方環境事務所 環境対策課

【市職員】

- 吹田市消防本部総務予防室
- 吹田市地域教育部まなびの支援課

【事務局】

- 吹田市環境政策室

(5) 任期

3年（更新可）

(6) 会議の公開について

原則公開

※吹田市情報公開条例第7条各号に掲げる公開しないことができる情報又は公開することができない情報に係る事案を検討する場合にあっては、非公開にできる。

2 スケジュール【予定】

年度	月	回	内容
2019 年度	6月	第1回	スケジュール確認、課題抽出、 情報共有（木造建築の現状、事例紹介、能勢町産材、モデル施設）
	8月	第2回	課題・調査報告、能勢町産材検討、課題抽出
	11月	第3回	スケジュール確認、課題・調査報告、能勢町産材検討、課題抽出
	2月	第4回	課題・調査報告、能勢町産材検討、モデル施設が含まれる分類に関するガイドライン骨子案の協議
2020 年度	5月	第1回	スケジュール確認、能勢町産材検討、課題抽出
	8月	第2回	課題・調査報告、能勢町産材検討、課題抽出
	11月	第3回	課題・調査報告、能勢町産材検討、課題抽出
	2月	第4回	課題・調査報告、モデル施設が含まれる分類に関するガイドライン案の協議
2021 年度	5月	第1回	モデル施設以外の施設への能勢町産材検討、課題抽出
	8月	第2回	課題・調査報告、能勢町産材検討、モデル施設以外の分類に関するガイドライン案作成に向けた協議
	11月	第3回	モデル施設以外の分類に関するガイドライン案の内容協議、 ガイドライン案全体取りまとめに関する協議
	2月	第4回	ガイドライン案協議、決定

3年間の検討の内、2年間は、実例（モデル施設）として「北千里小学校跡地複合施設」及び「北部消防庁舎等複合施設」の検討を行う。その中で、木材の種類・木材の特性、調達時期、コスト、維持保全等の検討を行い、最終的に汎用性のあるガイドラインを作成する。